

キャリア・パスポート（例示資料案）
小 学 校 B

3年生 新しい学年がはじまりました

3年目がはじまりましたね。入学したころの自分とくらべて、わたしは、こんなことができるようになりました。

わたしのよいところ
すきなこと、とくいなことを
おしえます

似顔絵

今までわたしがやってき
たことは……

そして、「わたしはこんなことができる3年生になります!!

先生から

おうちの人から

振り返り→見通し
という展開

3年生 新しい学年がはじまりました

3年目がはじまりましたね。入学したころの自分とくらべて、わたしは、こんなことができるようになりました。

駆けっこが速くなった、背が伸びた等々……でよい。一つでも多く書かせることで自己肯定感を高めたい。「下の子の面倒をみるようになりましたね」というような助言で成長に気づかせることが重要。

わたしのよいところ
すきなこと、とくいなことを
おしえます

ここでも自己肯定感を高める。自己肯定感を抱けなければ、「見通し」に進めないからである。

似顔絵

今までわたしがやってきたことは……

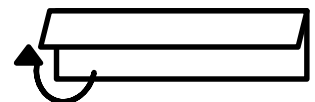
過去2年間の係活動、当番活動、表彰、学校外での習い事、地域での活動等々、3年生になった児童に「自分もまんざらではない」と感じさせたい。キャリア形成に関する事項。

そして、「わたしはこんなことができる3年生になります!!

3つ欄があるので、
「学習面・教科を絞り込む」
「校内での生活面」
「校外での活動・交友関係含む」もしくは「家庭内」と分けて書かせるとよい。

家庭環境が複雑化している現在、「おうちの人から」が空欄になってしまう児童に対しては「校長先生から」に代える等の配慮をする。

1ヶ月を目安に意思決定した内容を振り返らせたい。目標は修正変更することも可能であることを学習させる。その場合、上から新たな意思決定内容を書いた紙を貼る。1学期末まで。



めくれるように

先生から

おうちの人から

3年生 ○学期をふりかえりましょう

まずは「3年生 新しい学年がはじまりました」を読みかえしましょう

○ヶ月前の自分と今の自分をくらべると、すいぶんちがう人間になったなと思いませんか？

○学期、わたしはこんなことをしました。

こんなことができるようになりました。

こんなことを考えることができるようになりました。

こんなことが言えるようになりました。

似顔絵

来学期の自分へのメッセージ

先生からのメッセージ

おうちの人からのメッセージ

振り返り→見通し
という展開

3年生 ○学期をふりかえりましょう

まずは「3年生 新しい学年がはじまりました」を振り返りましょう
○ヶ月前の自分と今の自分を比べると、すいぶんちがった人間になったなと思いませんか？

○学期、わたしはこんなことをしました。
こんなことができるようになりました。
こんなことを考えることができるようになりました。
こんなことが言えるようになりました。

3学期制ならば、1学期と2
学期末に実施する。2学期制
ならば前期末に実施する。

*数ヶ月であっても、自分は成長しているということを感じさせたい。

それが、ささやかなものであっても、自分は確かに成長したと感じさせることがねらい。

*「とくできた」「できた」「あまりできなかった」「できなかった」というレベルでの自己評価で
はなく、「あまりできなかった」は「少しはできた」という指導観で指導する。

*学級内で交流し、相互に成長した点を指摘し合う機会を設けてもよい。

*「3年生 新しい学年がはじまりました」の意思決定の内容に、じっくり向き合わせる事が
大切。

似顔絵

来学期の自分へのメッセージ

「3年生 新しい学年がはじまりました」と同様、「学習面」「校内
での生活面」「校外での活動・交友関係含む」もしくは「家庭内」
の観点を想起させる。

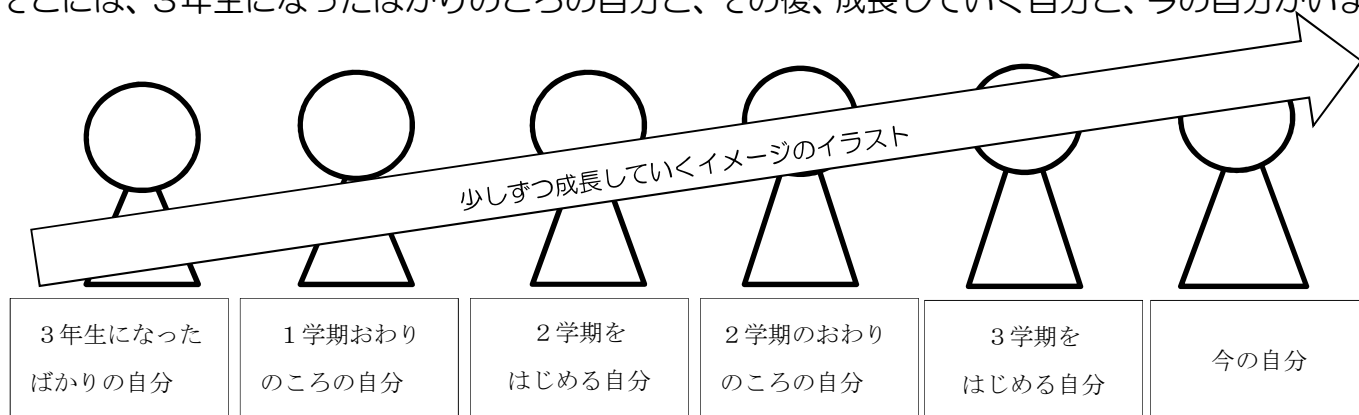
「おうちの人から」が空欄になってしまう児童に対しては「校長先
生から」に代える等の配慮をする。

先生からのメッセージ

おうちの人からのメッセージ

3年生 進級おめでとうございます

「新しい学年になりました」「1学期をふりかえりましょう」「2学期をはじめましょう」
「2学期をふりかえりましょう」「3学期をはじめましょう」を並べてみましょう。
そこには、3年生になったばかりのころの自分と、その後、成長していく自分と、今の自分がいます。



3年生になってから、今日まで

「わたしは、ここが成長した」と思うことを書いてみましょう。学校のこと、学校いがいのこと、おうちでのこと……何でもよいのです。

こういうことができるようになった。

こういうことが言えるようになった。

こういうことが考えられるようになった……。じっくり考えてください。

そして4年生に！

これができる4年生になる！

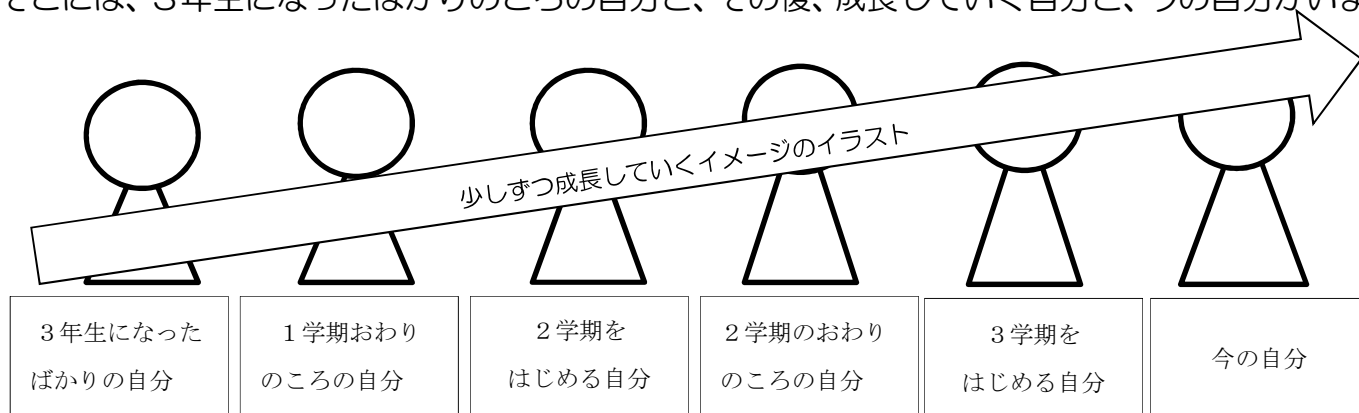
先生から

おうちの人から

振り返り→見通し
という展開

3年生 進級おめでとうございます

「新しい学年になりました」「1学期をふりかえりましょう」「2学期をはじめましょう」
「2学期をふりかえりましょう」「3学期をはじめましょう」を並べてみましょう。
そこには、3年生になったばかりのころの自分と、その後、成長していく自分と、今の自分がいます。



3年生になってから、今日まで

「わたしは、ここが成長した」と思うことを書いてみましょう。学校のこと、学校いがいのこと、おうちでのこと……何でもよいのです。

こういうことができるようになった。

こういうことが言えるようになった。

こういうことが考えられるようになった……。じっくり考えてください。

- * 1年間の成長を実感させることがねらい。
- * 1年間を振り返らせるため、「学校ではどうであったか」「家庭ではどうであったか」など、観点を細かく与えずに、過去のパスポートを眺めながら、じっくりと自分と向き合うことができるようにする。
- * 学級内で交流し、相互に成長した点を指摘し合う機会を設けてもよい。

そして4年生に！

これができる4年生になる！

具体的な行動目標でなくともよい。希望をもたせることが何より重要である。

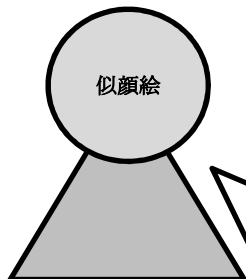
先生から

おうちの人から

*繰り返しになるが、「おうちの人から」が空欄になってしまう児童に対しては「校長先生から」に代える等の配慮をする。

6年生 最高学年としてのスタートです

これまでの5年間をふり返ってみましょう。どうですか、5年前の自分と今の自分を比べれば「子供」と「大人」くらいのちがいがあるでしょう。



「自分も大人にちかづいてきたなあ」と思うことを書いてみましょう

自分が今、考える理想の大人像
どんなことができる人かな？

が
ができます。



こんな大人になるために、これからの1年間でどんなことができるようになりますか？

先生から

おうちの人から

6年生 最高学年としてのスタートです

これまでの5年間をふり返ってみましょう。どうですか、5年前の自分と今の自分を比べれば「子供」と「大人」くらいのちがいがあるでしょう。

似顔絵

「自分も大人にちかづいてきたなあ」と思うことを書いてみましょう

「最上級生」としての自覚を促す意味でも「大人」という単語にした。

自分が今、考える理想の大人像
どんなことができる人かな？

大人になった
自分の顔

「～ができます」という文型にこだわらなくともよいことを助言する。

ができます。

* 大人の年齢は特定しない。児童のイメージでよい。

* 職業・職種にこだわらない。「家族を守ることができる」「好きなことを続ける」等でもよいことを助言する。

こんな大人になるために、これからの1年間でどんなことができるようになりますか？

* 3つ欄があるので、「学習面・教科を絞り込む」「校内での生活」「校外での生活・交友関係含む」もしくは「家庭内」と分けて書かせるとよい。

* 「どんなことをしたいですか？」ではなく「どんなことができるようになりますか」と問うことで意思決定を図る。

学級活動内容(3)とリンクさせる場合、最終場面の意思決定に、この欄が参考になる。

先生から

おうちの人から

* 家庭環境が複雑化している現代、「おうちの人」を「校長先生から」に代える等の配慮も必要。

小学校6年間でふりかえりましょう

中学校へ進学するまで、あとわずか。

今、12年間の足跡をふりかえることは大きな意味があります。

入学してから今日まで……「あの日、あの時、わたしは成長した」と感じたことが必ずあるでしょう。どんな小さなことでも、学校外のことでもよいです。思いつくままに書き出してみましよう。

そして、今……

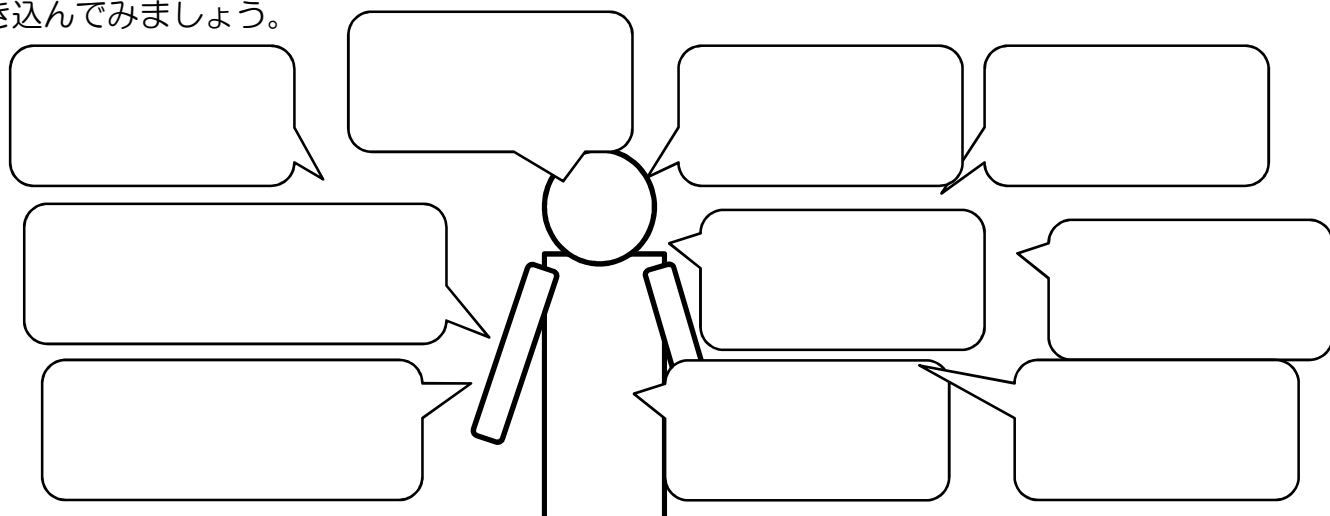
大きな夢をいだいている人もいます。

なりたい自分をはっきりとしている人もいます。

だれにも言っていないけれど、あこがれの職業があるという人もいます。

将来のことはまだ考えることができないという人もいます。

10年先のことはわからないけれど、こんな中学生を送りたいと思っている人はけっこういるのでは……。大切なことは「今のわたし」。今のわたしはこんな人間だと思いつく限り書き込んでみましよう。



先生から

小学校6年間でふりかえりましょう

中学校へ進学するまで、あとわずか。

今、12年間の足跡をふりかえることは大きな意味があります。

入学してから今日まで……「あの日、あの時、わたしは成長した」「わたしは誰かの役にたった」と感じたことが必ずあるでしょう。どんな小さなことでも、学校外のことでもよいです。思いつくままに書き出してみましょう。

じっくりと自分に向き合わせたい。
過去の経験を想起させるため通信簿や学級文集などを活用したい。

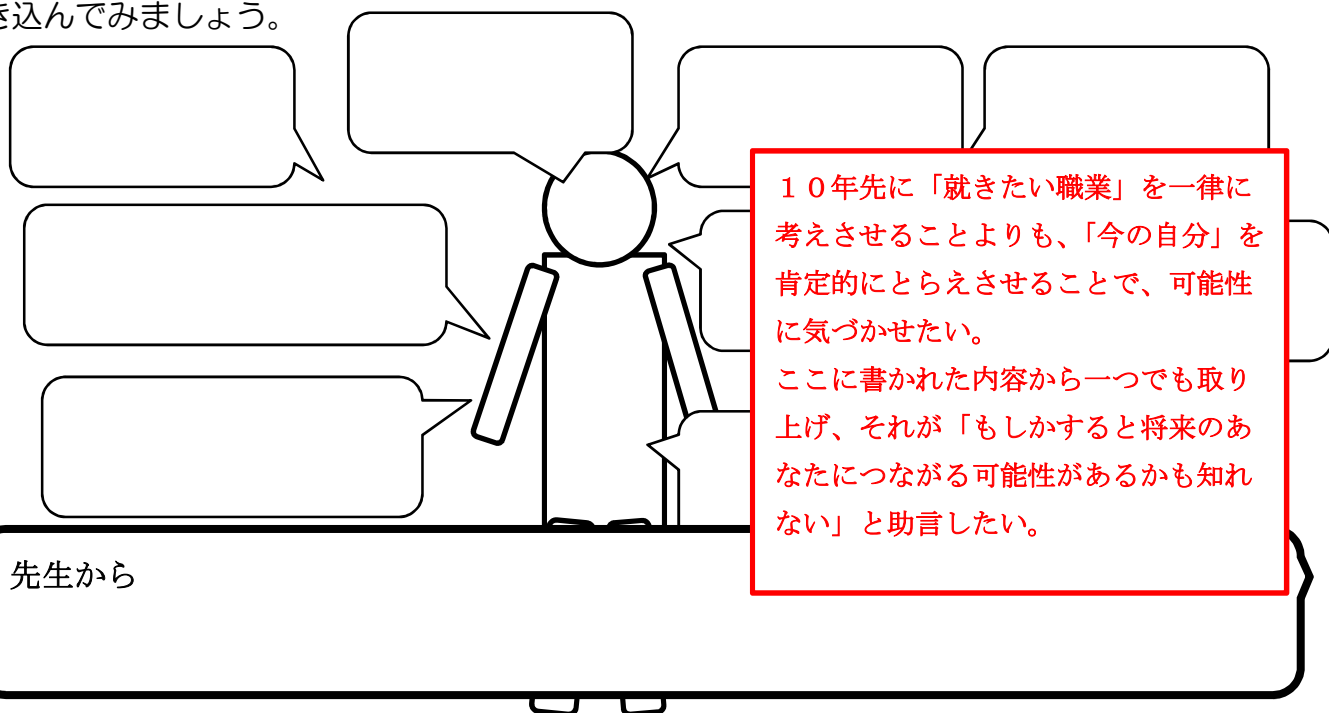
そして、今……

大きな夢をいだいている人もいます。

なりたい自分をはっきりとしている人もいます。

将来のことはまだ考えることができないという人もいます。

10年先のことはわからないけれど、こんな中学生を送りたいと思っている人はけっこういるのでは……。大切なことは「今のわたし」。今のわたしはこんな人間だと思いつく限り書き込んでみましょう。



6年 修学旅行

※他の行事にもカスタマイズ可

事前の活動

学年全体の目標

クラスの目標

これを受けて

わたしの行動目標 3 (これは必ずやりとげる!)

〇〇小学校6年生として……

〇年〇組の一員として……

いちばん楽しみにしていること……

振り返り 自分の成長を確かめましょう

わたしの行動目標 3

- ① 自分として最も「できたこと」は何ですか？
- ② それをこれからの生活に、どう生かしていこうと思いますか？

わたしの行動目標 3

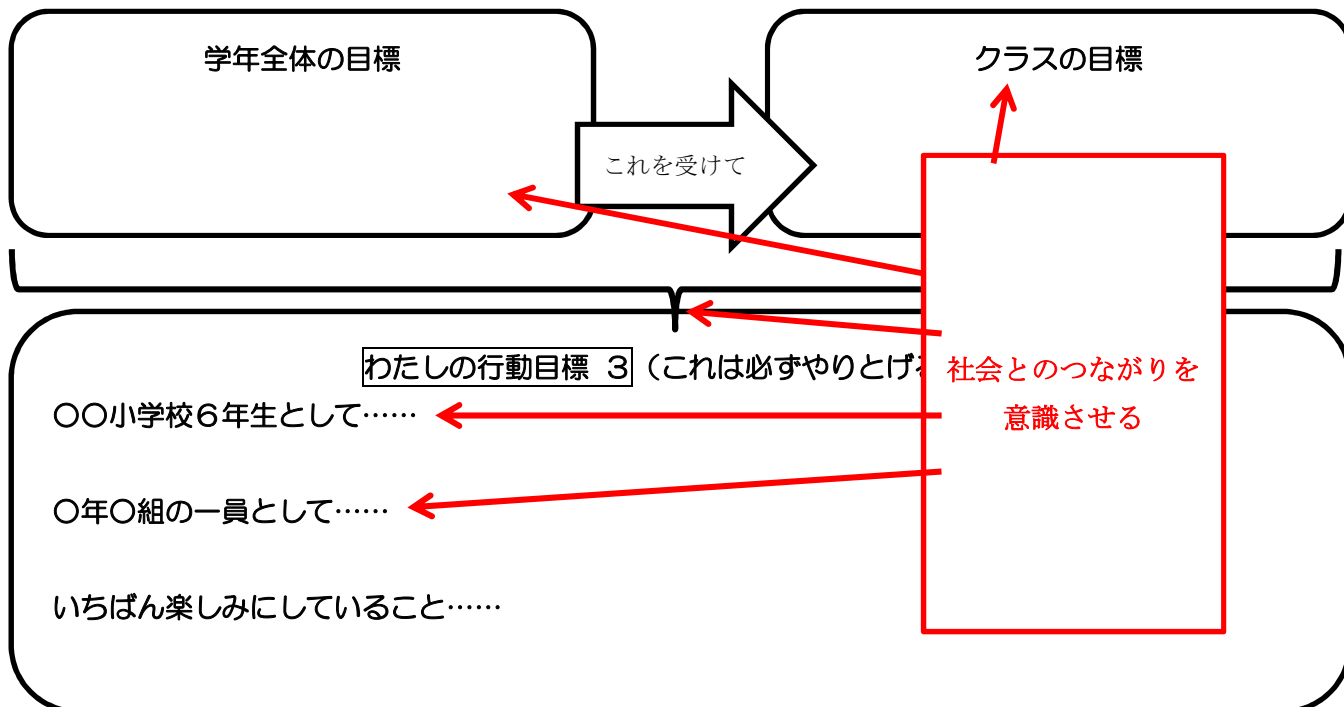
- ③ 自分として「これは課題として残ったなあ」と思うことは何ですか？
- ④ それをこれからの生活に、どう生かしていこうと思いますか？

6年 修学旅行

※他の行事にもカスタマイズ可

行事を単発にしないためにも事前と事後は重要。

事前の活動



振り返り 自分の成長を確かめましょう

わたしの行動目標 3

- ① 自分として最も「できたこと」は何ですか？
- ② それをこれからの生活に、どう生かしていこうと思いますか？

わたしの行動目標 3

- ③ 自分として「これは課題として残ったなあ」と思うことは何ですか？
- ④ それをこれからの生活に、どう生かしていこうと思いますか？

個々人の成果と課題を挙げさせ、それを集約することで、今後、学級が取り組むべき事柄が見えてくる。学級活動内容(1)アとの関連を図ることが大切。